

### 第 34 回人文・社会科学系学長懇談会の開会挨拶

本日はご多用中にもかかわらず、ご参加いただきありがとうございます。

私は、昨年 8 月に就任して程なく、本間北海道教育大学長より本年度（当時次年度）の開催を依頼され、あまり趣旨を理解することなくお受けいたしました。その後、昨年 12 月本間学長が主管されました函館での会議、本年 6 月のお茶の水女子大学での会議に参加いたしまして、あれこれと思案し今回のような企画にした次第です。

学長各位におかれましては、私のようないわゆる地方国立大学の立場もあれば、大規模総合大学や単一学部の大学など、いろいろな規模、内容構成の組織の長としてご尽力されていらっしゃると思います。同じ人文・社会科学系研究者出身であっても、このように組織の規模、内容が多様でありますだけに、重なる思いもありまじょうが、また異なった苦労もあろうかと思ひます。



国立大学協会での各種会合では、こうしたことについて交流する時間も企画ありませんので、今回の会合を活用し「人文・社会科学系学長としての大学経営の交流」をさせていただきたいと思ひた次第です。

そこで第 1 部では、鷺田清一大阪大学長（哲学・大規模総合大学）と亀山郁夫東京外国語大学長（ロシア文学・単科大学）から、10 分程度「哲学者学長としての大学経営」「文学研究者としての大学経営」等の話題提供をしていただきます。このあと参加者各位から自己紹介をかねて人文・社会科学系研究者学長としてのご経験談をお話していただきたいと思ひます。

第 2 部で講演していただく医学博士・西川伸一先生（理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター副センター長）には、この第 1 部から同席していただいております。西川先生には、第 1 部での意見交換をふまえながら「自然科学・医学からみた人文・社会科学への期待」というようなお話をしていただきます。西川先生は医学研究者ながら人文・社会科学の動向に強い関心を寄せられ、さまざまな論説を發表しておられます。

その後の情報交換・懇親会では、第 1 部・第 2 部をふまえながら学問的・大学経営的な意見交換を行っていただければ幸いです。

なお、当初は濱田純一東京大学長と佐和隆光滋賀大学長も参加される予定でありました。

ご両名とも海外出張で参加できないということで、東京大学からは久保公人理事（前文部科学省高等教育担当審議官）、滋賀大学からは北村裕明理事（経済学）の参加の計らいをしていただきました。濱田、佐和学長のご配慮には深く感謝をしておりますことを付け加えさせていただきます。

明日は、高野山大学・乾教授の講話と、教授のご案内で高野山奥の院等の散策を予定しております。高野山は高地ですので、通常におきましても平地よりも気温が低いのですが、昨日からは特段に気温が低くなっております。どうぞこの点にご留意くださいますようお願いいたします。それでは本日、明日とよろしく願ひいたします。

国立大学法人和歌山大学

学長 山本健慈

（2010 年 10 月 27 日～28 日 於：高野山 遍照光院）